

2025年9月15日

## 日本語能力試験試験（JLPT）について

海外業務室 荒谷

皆様、日頃の海外業務室に関わる業務並びにタイ人技能実習生へのご指導誠にありがとうございます。海外業務室として、日本語能力試験（JLPT）に関して紹介させて頂きます。

日本語能力試験（JLPT : Japanese-Language Proficiency Test）は、日本語を母語としない人を対象に、日本語の「読む」「聞く」能力を測るための試験です。年に2回、7月と12月に行われ、日本だけでなく、世界各国でも受験することができます。

試験は5つのレベルに分かれており、もっとも難しいのが「N1」、もっともやさしいのが「N5」です。たとえば、N1では新聞や論文などの複雑な文章を理解できるかが問われ、N5では日常の簡単な会話や文章を理解できるかを見ます。以下レベル表をご覧ください。

◆ レベル（N1～N5）		
レベル	難易度	内容の目安
N1	最難関	新聞・論文など高度な日本語を理解できる
N2	難しい	日常生活や仕事で使う日本語を十分理解できる
N3	中級	日常的な場面である程度自然な会話や文章を理解できる
N4	初級	基本的な日本語を理解できる
N5	最も易しい	ごく簡単な日本語を理解できる

ちなみに柿原の技能実習生（特定技能生）はN4：19名、N3：8名、N2：3名が合格しております！

N3は自発的に勉強しないとなかなか合格しません。実習生と会話する中で「お！この子はだいぶ日本語能力が高いなあ！」と感じる子はだいたいN3合格しています。N2になるとレベルがググっと上がって一気に難易度が高くなります。日本人の私でも「こっちは気もするけど正解はどれなの？」ってなる問題がちらほらでてきます。日本語を正しく理解する力が必要になります。N2合格したヌム、ワーウ、ウイーは本当に努力したのだと思います！（もう全員帰っちゃいましたが( ；∀； )

N1になるとさらにレベルがガガガっと上がって、日本人でもなかなか答えられない問題もでできます。N1問題例がこちら。

**N1** 読解 1 [内容理解(短文)]

次の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

音楽や美術、彫刻などの芸術は、聴く人、観る人の批評によって育てられる。悪い演奏をしたら、良くない作品を出品したら、その芸術家は次に表舞台に出る機会を失う。ところが、医師や看護婦が行なう医療の実践を評価できる患者は作られてこなかった。一般の人に知識を与えず、医療について評価できる患者がいない。だから医のアートが発展しないのである。これは患者にとってはもとより、医療者にとっても不幸なことではないか。

(日野原重明『いのちの言葉』による)

**問い合わせ** 答者がここで最も言いたいことは何か。

- 1 きちんとした医療の実践ができない医療者は表舞台から去るべきだ。
- 2 医療者を不幸にしないために、一般の人も医療の知識を持つべきだ。
- 3 医療も芸術と同様に、医療の良し悪しを評価できる患者が必要である。
- 4 悪い演奏や良くない芸術作品は、病院における医療事故と同じである。

正解は・・・

『3』です。

読解力がないと難しい問題ですよね。他にも四文字熟語やことわざも頻出するようです。日本人でもなかなか難しいのでは！

異国の方で働くだけでもすごいのに、さらに外国語を勉強するのはすごく大変なことです。そんな中で努力を続け、合格という成果を出している実習生たちは本当に立派です！ぜひ皆さんも、実習生たちにたくさん日本語で話しかけてみてください。話しかけてもらえることで、実習生の自信にもつながりますし、会話を通じてさらに日本語力も伸びていきます。

私自身も、彼らの姿勢を見習い、日々の関わりをより深めていければと思っております。